

2019 年女性医師働き方改革 WG 議事録

実施年月日	2019 年 7 月 18 日(木) 16:00~16:50
出席者名	太田千晴医師 林啓加医師 榊原庶務課主任 小林キャリア支援センター主幹
場所	3F 訓練室
書記	小林

1. 女性医師のアンケート 19 名実施中

7 月 26 日 (金) 17 時まで投函をお願いしている。
今のところアンケートに関する問い合わせはないようである。



2. アラカルト・情報収集した内容の共有

《女性の医学生からの意見》

- ① 「産休を取得後の復帰に支障がないか。など心配がある」
- ② 「男女平等に育児休暇がとれるようにしてほしい」(男女平等に育児をしていきたいと思うから)
- ③ 「ロールモデルとして身近な上司がいると良い」

♥この意見に対して…⇒愛知県庁医務課より『令和元年度女性医師等就労支援事業』の内容が今後、厚労省としての対策になるためその内容を以下に記述。

- ① 女性医師等復職研修事業
- ② 短時間勤務制度等利用促進事業

病院に代替医師の人件費への補助などがある。また、当院は男性の産休なども制度化している。ただ、医師の実績はないので啓蒙が必要と思われるが各科の状況によるものと考えられる。

- ③ 豊川市民病院での女性医師のロールモデルとして、H 医師を紹介していく予定。

日本医師会がまとめた資料によると全医師における女性医師の割合は年々増加しており、平成 26 年の時点で女性医師は全医師の 20.4% を占める。なかでも産婦人科や小児科では 20 代の女性医師の割合が半数以上を占め、この分野の医療が安定的に継続・発展するためには、若手女性医師へのキャリアサポートが待ったなしの状況となっている。しかし、女性医師の就業率は一般女性と同じように年齢に合わせて M 型カーブをたどる。結婚や出産・育児などのライフイベントのために多くの女性医師が働くことをあきらめ、キャリアの中断を余儀なくされている。一方、女性医師に対するキャリアサポートがほぼないに等しい中、結婚や出産・育児を経ても働き続ける女性医師がいる。今回、こうした女性医師のケーススタディを紹介することで、男性医師と同様にキャリアを積み重ね、働き続けるためのヒントとしてロールモデルを提示していきたい。(引用参考:「日本再興戦略」改定 2014 年)

《入職時の説明資料》

- ① 医師の入職時オリエンテーションに詳細について『別添資料あり』とし希望者へ配布したい。
- ♥この件について、庶務課人事に承諾を得る。配布は『豊川市民病院事業職員規則 第 9 条抜粋資料、『子育て支援マニュアル』を庶務課とキャリア支援センターで用意しておく。

《世間の男性医師の思いは》

医療維新 ニュース引用:『男性医師も育休取りやすくして』とあり、男性医師へのしわ寄せや、一律な女性優遇に疑問を呈する声もまた事実あることは、私たち、女性医師の働き方ワーキンググループメンバーは認識して活動を行っている。